

平成30年度

事業実績報告書



社会福祉法人 秀峯会

介護老人福祉施設きじの里
通所介護事業所きじの里
通所介護事業所清風
訪問介護事業所きじの里
グループホームきじの里
グループホーム清風
居宅介護支援事業所きじの里
五島市在宅介護支援センターきじの里
特定旅客自動車運送事業所きじの里
障害者自立支援事業所きじの里

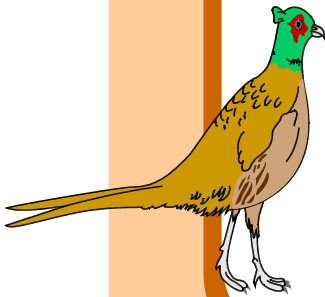
〒853-0311

長崎県五島市岐宿町二本楠375番地

Tel.0959-83-1246.1244 FAX0959-83-1247

<http://syuhoukai.jp/>

e-mail kijinosato@syuhoukai.jp



目 次

I	介護老人福祉施設きじの里の経営	1
1.	介護老人福祉施設	1
2.	短期入所生活介護	2
3.	行事実施内	3
4.	職員研修	4
4. 1	施設外研修	4
4. 2	施設内研修	5
II	通所介護事業所きじの里の経営	6
1.	基本方針	6
2.	サービス内容	6
3.	事業実施内容	6
4.	日課表	6
5.	利用者状況	7
6.	行事実施内容	8
III	通所介護事業所清風の経営	9
1.	基本方針	9
2.	サービス内容	9
3.	事業実施内容	9
4.	日課表	9
5.	利用者状況	10
6.	行事実施内容	11
IV	訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営	12
1.	サービス内容（訪問介護）	12
2.	サービス内容（介護予防訪問介護）	12
3.	利用者の状況	12
4.	利用状況の推移	12
V	グループホームきじの里の経営	14
1.	利用状況	14
2.	年間行事実績	15
3.	施設内研修	16
VI	グループホーム清風の経営	17
1.	利用状況	17
2.	年間行事実績	18
3.	施設内研修	19
VII	居宅介護支援事業所きじの里の経営	20
1.	要介護度別利用状況	20
2.	給付管理表の提出状況	21
3.	予防給付プラン・総合支援プラン作成件数	22
VIII	五島市在宅介護支援センターきじの里の経営	22
1.	事業実績累計	22
2.	実態把握件数	22
IX	介護報酬の状況	23
X	事故、ヒヤリ・ハット発生状況	24
XI	生計困難者対策実施状況	28
XII	生計困難者レスキュー事業実施状況	28

I 介護老人福祉施設きじの里の経営

1. 介護老人福祉施設

平成30年度中における各月1日現在の入所者数を表1に示す。表2及び図1に、平成31年3月31日現在（今後特に表記がない場合、示された数値は全て平成31年3月31日現在のものである。）の地区別入所者数を示す。

表3に入所者の年齢分布及び入所期間を示す。80才以上が82%と高齢化が進み平均入所期間は3年である。

また、入院日数は延べ197日、外泊5日、稼働率は98.5%であった。

表1 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月延 べ人数
		入所	退所	
平成30年4月	49	2	1	51
平成30年5月	50	0	0	50
平成30年6月	50	0	1	50
平成30年7月	49	1	0	50
平成30年8月	50	0	0	50
平成30年9月	50	3	3	53
平成30年10月	50	1	1	51
平成30年11月	50	0	0	50
平成30年12月	50	1	1	51
平成31年1月	50	1	2	51
平成31年2月	49	2	1	51
平成31年3月	50	0	0	50

表2 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所者数
旧福江市	1	9	10
岐宿町	3	22	25
玉之浦町	2	5	7
富江町	0	2	2
三井楽町	0	4	4
奈留町	1	1	2

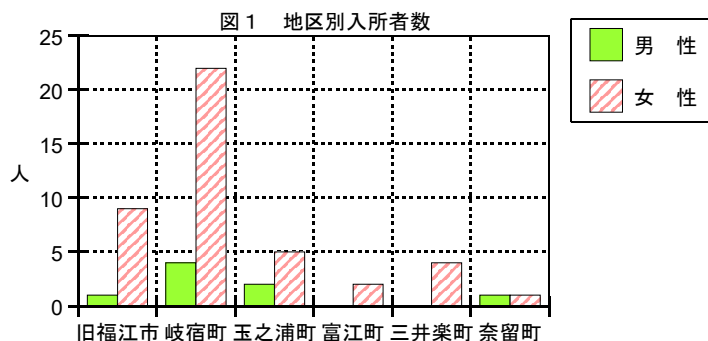


表3 入所者の年齢分布及び入所期間

年齢区分 (歳)	性 別	人 数	入所期間			
			6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
～64	男	0				
	女	0				
65～69	男	1				1
	女	1			1	
70～79	男	1			1	
	女	6	1	1	2	2
80～	男	5			4	1
	女	36	4	3	22	7
合計		50	5	4	30	11

平均年齢 男性 81.9才
女性 85.9才
平均 85.3才

平均入所期間 男性 5年 3ヶ月
女性 2年 10ヶ月
平均 3年 2ヶ月

表4及び図2に平成31年3月末の入所者の介護度を示す

要介護1： 6%
 要介護2： 2%
 要介護3： 40%
 要介護4： 36%
 要介護5： 16%

平均介護度 3.54

表4 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要介護1	0	3	3
要介護2	0	1	1
要介護3	3	17	20
要介護4	1	17	18
要介護5	3	5	8
合計	7	43	50

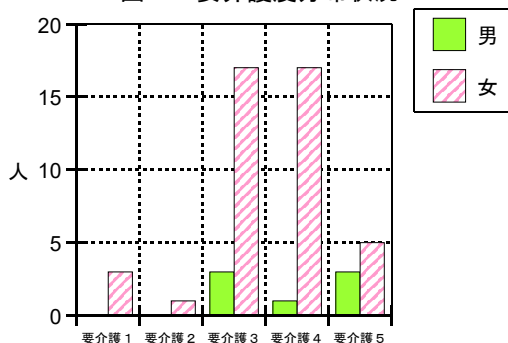
<認知区分状況>

自立： 1名 (2%)
 (I)時々あり： 5名 (10%)
 (II)ややあり： 7名 (14%)
 (III)やや多い： 23名 (46%)
 (IV)非常に多い： 13名 (26%)
 (M)重度： 1名 (2%)

74%

平均介護度は3.54、要介護3以上の利用者が90%を占めている。また、嚥下困難で、胃ろう手術を行っているご利用者様が2名入所している。

図2 要介護度分布状況



2. 短期入所生活介護

表5 短期入所月別利用者数の状況

表5に短期入所生活介護事業(ショートステイ)月別利用者数の状況を示す。

前年は延べ2,709日の利用であったが、30年度は2,455日と254日減、障害者自立支援ショート利用はなく、稼働率は67.2%であった。

1日平均6人、平均介護度2.8

入所待ちの長期利用者の施設入所や入院が続いた為、利用日数の減少になった。

	延べ日数			当該月実利用者数	障害者自立支援ショート延べ日数
	介護保険	私的契約	合計		
4月	242	4	246	16	0
5月	231	8	239	14	0
6月	193	7	200	12	0
7月	242	7	249	14	0
8月	290	8	298	14	0
9月	249	4	253	14	0
10月	146	3	149	10	0
11月	140	7	147	12	0
12月	138	9	147	9	0
1月	162	0	162	14	0
2月	172	4	176	15	0
3月	187	2	189	13	0
合計	2,392	63	2,455	157	0

表6 介護度別ショートステイ利用者延べ日数

予防ショート	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
81	306	663	755	484	166	2,455

経管(鼻腔)栄養者：0名

3. 行事実施内容

表7に平成30年度中に実施した行事等を示す。ユニット毎にそうめん流し、蛍狩り、花火大会、焼き芋、地域の祭りなどに参加したりして、ご利用者様に季節感を味わってもらった。また運動会、納涼祭、敬老会、文化祭を実施し、地域の皆様との交流を図った。

火災の防止と万一の災害（地震、風水害）発生に備えて、夜間と昼間を想定した総合避難訓練をそれぞれ1回（計2回）、さらに消火器、屋内消火栓を用いた消火訓練を1回実施した。

表7 平成30年度年間行事実施表

月	行事計画	日	実施	月	行事計画	日	実施
4	花見 誕生会	11	つわむき	11	誕生会	18	文化祭
		13	桜見物			21	誕生会
		17	買い物ツアー				
		27	誕生会				
5	入所者健康診断 母の日		入所者健康診断 (血液検査)	12	大掃除 クリスマス 忘年会	17	山内保育園クリスマス会
		12	誕生会			22	岐宿中学校ハンドベル
		22	野菜苗植え			27	餅つき
		26	五島ゴスペル演奏会 ワックスかけ				門松作り
6	運動会 父の日	9	運動会	1	新年祝賀会 鏡開き 誕生会	9	初詣/住吉神社 カラオケ大会 書き初め
		17	バロンキング応援			28	誕生会
		19	誕生会				
		21	バスハイク/漁ヶ崎				
21	蛍狩り						
7	誕生会	7	七夕祭り	2	節分・豆まき 誕生会	3	節分・豆まき
		21	誕生会			13	誕生会
		24	流しそうめん			19	入所舎健康診断
8	誕生会	1	バスハイク/三井楽	2	誕生会	21	南高フェスティバル
		4	納涼祭				
		21	縁日				
		27	誕生会 花火大会				
9	誕生会 敬老祝賀会	17	敬老会	3	ひな祭り 誕生会	3	ひな祭り
		20	誕生会			12	バスハイク/三井楽
		19	避難訓練（昼間想定）			14	誕生会
10	誕生会 バスハイク	21	お月見会	3	誕生会	18	つわむき
		23	誕生会			22	避難訓練 (夜間想定)
		24	バスハイク/鬼岳				
			ワックスかけ				

4. 職員研修

4. 1 施設外研修

平成30年度中における職員研修の実施状況を表8に示す。施設内外での研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

表8 職員の研修実施状況（施設外）

部署・人数	職種	実施日	場所	内容
特養2名	介護職	5月8日～5月9日	長崎市	中堅職員研修会
特養2名	介護職	5月22日	長崎市	介護記録の書き方研修会
特養1名	看護職	5月23日	長崎市	食中毒（感染症）予防研修会
特養1名	施設長	6月4日	長崎市	長崎県老人福祉協議会総会・研修会
特養1名	介護職	6月21日～6月22日	福岡市	ユニットリーダー研修
特養1名	施設長	7月3日～7月4日	長崎市	看護・見守りシステム
特養1名	介護職	7月10日～7月13日	佐賀県	ユニットリーダー実地研修
特養1名	相談員	7月13日	長崎市	良い人材確保のための採用・定着育成研修
特養2名	介護職	7月19日	長崎市	高齢者の急変時対応研修会
特養1名	施設長	7月19日～7月20日	大分県	九州老人福祉施設職員研究大会
特養2名	介護職	7月27日	長崎市	コンプライアンスとハラスメント研修会
特養1名	施設長	8月27日	長崎県	長崎県外国人介護人材受入対策協議会
特養2名	介護職	8月29日	長崎市	利用者中心の支援を考える虐待防止研修会
特養2名	介護職	8月30日	長崎市	ストレスケア研修会
特養1名	P T	9月5日	長崎市	災害対応「BCP策定」研修会
特養2名	介護職	9月11日	長崎市	自律的な若手が育つセルフマネジメント研修会
特養1名	看護職	9月13日	長崎市	貧困なから丁寧なケアへ！拘縮・褥瘡予防研修会
特養1名	介護職	9月13日	長崎市	貧困なから丁寧なケアへ！拘縮・褥瘡予防研修会
特養2名	介護職	9月14日	長崎市	食事を意識した車いすシティング研修会
特養1名	施設長	10月1日	長崎市	長崎県外国人介護人材受入対策協議会
特養1名	介護職	11月9日	長崎市	中堅職員フォローアップ研修会
特養3名	介護職	11月21日～11月23日	沖縄県	全国個室ユニット推進協全国研修大会
特養1名	施設長	11月21日～11月23日	沖縄県	全国個室ユニット推進協全国研修大会
特養1名	施設長	12月5日	長崎市	外国人技能実習制度適正化事業研修会
特養4名	介護職	1月23日	長崎市	排泄ケアセミナー
特養1名	施設長	1月23日	長崎市	排泄ケアセミナー
特養1名	ケアマネ	2月14日	長崎市	生計困難者レスキュー事業全体会議
特養1名	施設長	2月15日	長崎市	新たな外国人材受入れに係わる制度説明会
特養1名	施設長	3月6日	長崎市	労務トラブル対策セミナー
特養1名	ケアマネ	3月12日	長崎市	長崎県災害派遣福祉チーム研修会
特養1名	施設長	3月18日	長崎市	介護事業者向け介護人材セミナー

4. 2 施設内研修

サービス向上に不可欠な職員の資質向上、及び施設経営理念の理解のため各種研修会を開催した。さらに、参加した各種研修会に関する報告会を開催し、新しいサービス内容、技術習得のための内部研修を実施した。これらの結果を表9に示す。

表9 施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
5月17日・18日・19日 ＜到達度勉強会＞	＜身体レベルに合わせた排泄介助方法について＞ ・基本を守りながら身体レベルに合わせた排泄介助を学ぶ	計31名
6月23日・26日・29日 ＜到達度技術確認＞	＜排泄介助＞ ・モデルを使って排泄介助について学んだ技術を発表、確認	計26名
7月29日 ＜感染症、食中毒予防研修＞	＜感染症、食中毒予防について＞ ・施設内で起こりやすい感染症とその対策 ・食中毒予防と嘔吐物処理の実技指導	計28名
7月29日 ＜接遇勉強会＞	＜接遇について＞ ・身だしなみの基本、コミュニケーションなどを学ぶ	計28名
9月19日 ＜リスク勉強会＞	＜防災訓練について＞ ・警察官の指導の下、不審者が侵入した際の適切な行動の確認、実践（サスマタ使用による実技指導） ・災害時の適切な行動確認、実践（保存食試食・備蓄状況確認）	計26名
9月19日 ＜看取り研修＞	＜看取りケアについて＞ ・エンゼルケアのプロセス、心がけと支援について学ぶ	計26名
9月28日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション（特養、看護、デイ）ごとに課題を決めそれについて研究しその成果を発表する。	計31名
9月21日・25日・27日 ＜到達度勉強会＞	＜移乗・移動介助について＞ ・利用者、介護者に負担にならない移乗、移動の介助技術を学ぶ	計31名
10月7日・11日・15日 ＜到達度技術確認＞	＜移乗・移動介助＞ ・移乗・移動介助について学んだ介護技術を発表、確認	計31名
12月3日 ＜リスク勉強会＞	＜安全運転について＞ ・利用者送迎時の安全運転・事故後の対応について	計28名
1月18日・20日・23日 ＜到達度勉強会＞	＜入浴介助について＞ ・入浴時の一連の動きや介助を学ぶ	計28名
2月16日・25日・28日 ＜到達度技術確認＞	＜入浴介助＞ ・入浴時の一連の動きや介助について学んだ技術を発表、確認	計26名
2月25日、3月1日 ＜身体拘束、虐待防止研修＞	＜身体拘束廃止、虐待防止について＞ ・身体拘束の3原則、緊急やむを得ない場合の対応 ・虐待の基本的理解、不適切ケアについて学ぶ	計43名
2月25日、3月1日 ＜感染症研修＞	＜感染症予防について＞ ・感染症の予防、まん延防止について（嘔吐物処理実技）	計43名
3月29日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション毎が課題について研究しその成果を発表する	計34名

Ⅱ 通所介護事業所きじの里の経営

1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持、向上に資するよう事業を実施した。

2. サービスの内容

- ①利用日は日曜日・年始3日を除き、毎日実施
- ①利用定員は1日18名
(おおむね要介護認定者7名、通所A5型 8名、通所A7型 3名)
- ③利用料は利用内容により一割の自己負担、A7型は800円/回
- ④パワーリハビリテーション
パワーリハビリ器具を使用して機能訓練実施、サーキット訓練、ボール運動を実施。
- ⑤レクリエーション活動
輪投げ、ゲート通しリレー、ビンゴゲーム、バスハイク
- ⑥クラブ活動
手工芸、ちぎり絵、カラオケ、ハンドベル

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食事 カロリー、栄養などを計算した献立に基く暖かい食事の提供
- 4) 入浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 5) その他日常生活に必要なサービス

4. 日課表

8:00	9:00					12:00	13:30							15:30	16:30	
専用車にて迎え	健康チェック	機能訓練・脳トレ	入浴	マッサージ機器	嚙下体操	昼食	休憩	創作活動	機能訓練	クラブ活動	サーキット訓練	ボール体操	レクリエーション	おやつ	休憩	専用車にて送り

5. 利用者状況

表10、11に平成29年度、30年度要介護度別通所介護利用者数を示す。

利用延べ人数では、前年度より282名の増加となり、1日当たりの平均利用者数は15.4人となっている。上半期、順調に利用者数が増えていたが、11月より重度利用者の入院や施設入所者が増えた為急激に利用者数が減った。そこで、要介護1の利用者の回数増を促したり、休んだ場合の振替利用を積極的に進めた結果、前年度より利用者数を増やすことができた。またサービスの内容を見直し、個々に応じたクラブ活動やレクレーションに変化をつけることによりご利用者様に楽しみにして頂けるようになり、休むことが減ってきている。今後もサービス内容、接遇の向上を目指し新規利用者の獲得に努める。

表10 平成29年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	68	72	56	51	47	59	63	70	56	54	45	46	687
総合事業1	123	121	117	123	109	126	116	118	107	96	96	126	1378
総合事業2	78	75	65	67	68	75	75	62	74	56	74	109	878
要介護1	85	94	93	98	82	95	93	85	70	63	37	38	933
2	13	14	12	13	14	13	18	0	0	1	4	6	108
3	11	8	2	2	3	7	5	16	12	7	19	28	120
4	7	9	23	31	30	25	43	31	47	34	39	39	358
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
合計	385	393	368	385	353	400	413	382	366	311	315	394	4,465
営業日	25	27	24	26	27	26	26	26	26	24	24	27	308

1日平均利用者数 14.5人

表11 平成30年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	46	51	55	55	47	40	42	52	49	46	34	47	564
総合事業1	103	121	124	127	116	137	148	146	123	120	142	144	1,551
総合事業2	87	100	97	99	91	111	125	107	100	91	92	111	1,211
要介護1	60	62	55	56	46	55	64	61	76	73	80	90	778
2	11	18	26	24	14	25	24	24	8	7	6	0	187
3	24	27	27	25	26	19	9	6	8	13	13	12	209
4	34	30	29	35	30	26	21	9	9	1	9	14	247
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	365	409	413	421	370	413	433	405	373	351	376	418	4,747
営業日	25	27	26	26	26	25	27	26	26	24	24	26	308

1日平均利用者数 15.4人

表 1 2 地区別通所介護利用登録者数
(通所介護・総合事業利用数含む)

居住地・性別	男	女	合計
岐 宿	1	3	4
川 原	0	3	3
楠 原	0	1	1
松 山	1	7	8
寺 脇	2	1	3
坂 の 上	2	7	9
城	0	10	10
南 部	0	1	1
柿ノ木場	0	2	2
二本楠	5	11	16
荒 川	5	3	8
福 江	1	0	1
大 曲	1	0	1
合 計	18	49	67

	最高	最低	平均
男	93	68	83.8
女	100	76	89.8
全体平均			86.8歳

6. 行事实施内容

表 1 3 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4月	バスハイク 折り紙	花見・買い物 (4/2~4/7) 花作り(チューリップ)	10月	バスハイク ハンドベル	秋桜花見 ハンドベル
5月	折り紙	花作り(紫陽花) 運動会練習	11月	文化祭 三角折り紙細工	きじの里文化祭(18日) 岐宿町文化祭見学(3日) 花作り
6月	運動会 バスハイク 誕生会	きじの里運動会(2日) 紫陽花花見(6/11~6/16) 誕生会(6/25~6/30)	12月	忘年会・誕生会 足湯	誕生忘年会(17日~22日) 山内保育園クリスマス会(17日) 足湯(12/10~12/15)
7月	七夕飾り 三角折り紙細工	七夕飾り(1日~) きじ作り	1月	新年会 福笑い 折り紙細工	新年会・初詣(住吉神社) 福笑い(4~10日)
8月	納涼祭 三角折り紙細工	きじの里納涼祭(4日) 文化祭作品作り	2月	節 分	豆まき
9月	誕生会 避難訓練	誕生会(9/17~9/22) きじの里敬老会 文化祭作品作り 避難訓練(19日)	3月	雛 祭 り 避難訓練 誕生会・花見	バスハイク三井楽雛飾り・足湯 (2/25~3/2) 避難訓練(22日) 誕生会(3/25~3/30)

Ⅲ 通所介護事業所 清風の経営

1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持・向上に資するよう事業を実施した。

介護予防対象者については、日常生活において自立した生活が維持できるよう、レクリエーション活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、運動器による機能向上を機能訓練指導員の指導の下実施し、体力の維持向上に資するよう事業を実施した。

2. サービスの内容

- ①利用日は土、日、年始3日を除き、毎日実施
- ②利用定員は10名（おおむね要介護認定者4名、通所A6型 4名、通所A7型2名）
- ③利用料は利用内容により一割の自己負担、 A7型 800円/回
- ④機能訓練
筋力増強運動及び平行棒、プーリー等の各種器具を使用しての機能訓練を実施
- ⑤レクリエーション活動
卓球、お手玉ボーリング、室内ペタンク、脳トレ（頭の体操）など
- ⑥クラブ活動
手工芸、カラオケ、折り紙、編み物など

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送 迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食 事 カロリー、栄養などを考慮した暖かい食事の提供
- 4) 入 浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介 護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 8) その他日常生活に必要なサービス

4. 日 課 表

	8:00	9:00				12:00	13:30			15:00	15:40			
専用車にて迎え	健康チェック	機能訓練	入浴	マッサージ	嚥下体操	昼食	休憩	機能訓練	ボクサー運動	クラブ活動	レクリエーション	おやつ	休憩	専用車にて送り

5. 利用者状況

表14、15に平成29年度、30年度の要介護度別通所介護利用者数を示す。29年度と比較して48名増加した。新規利用者も増える反面、施設入所、体調不良による入院等が増えて、利用者数が減少してきている。今後も継続して関係機関及び居宅介護支援事業所と連絡を取り合い、要介護認定を受けた新規利用者の獲得に努める。

表14 平成29年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	39	49	54	47	48	51	56	52	41	37	41	47	562
総合事業1	36	39	37	36	40	34	29	34	30	19	12	14	360
総合事業2	26	24	22	23	23	31	30	25	22	25	25	32	308
要介護1	38	51	50	47	32	9	11	6	6	14	19	23	306
2	28	31	29	28	34	52	51	33	28	29	34	40	417
3	2	4	8	4	15	14	18	20	20	18	21	25	169
4	6	8	7	6	9	7	8	8	7	0	0	0	66
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	175	206	207	191	201	198	203	178	154	142	152	181	2,188
営業日	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	19	22	256

1日平均利用者数 8.5人

表15 平成30年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	41	46	39	40	40	37	43	51	44	45	44	45	515
総合事業1	14	18	13	17	23	19	28	22	22	19	20	18	233
総合事業2	32	33	29	38	33	33	31	25	21	22	25	23	345
要介護1	21	29	30	28	28	33	48	47	48	46	44	42	444
2	39	38	36	30	35	32	45	41	39	39	39	39	452
3	26	27	26	28	29	14	18	18	17	15	15	14	247
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	191	173	181	188	168	213	204	191	186	187	181	2,236
営業日	21	23	21	22	23	20	23	22	21	20	20	22	257

1日平均利用者数 8.7人

表16 地区別通所介護利用登録者数

居住地 性別	男	女	合計
大荒町		3	3
紺屋町		1	1
上大津町	1	3	4
下大津町		2	2
木場町	1	4	5
籠淵町	1	1	2
奥浦町	1	1	2
栄町		0	0
松山町		1	1
中央町		1	1

	最高	最低	平均
男	93	71	86
女	100	71	85
全体平均	85歳		

池田町		1	1
武家屋敷		2	2
江川町		1	1
幸町		2	2
吉久木町	1	1	2
吉田町		1	1
岐宿町		1	1
富江町		2	2
合計	5	28	33

定員10名には及ばないため、今後も要介護者を中心とした利用者獲得が最大の課題である。

6. 行事实施内容

表17 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4月	花見 菜の花見学 買い物ツアー	花見(2日~6日) 菜の花・芝桜見学 買い物(エレナ)	10月	コスモ見学 文化祭作品作り 買い物ツアー	コスモ見学(25日) 貼り絵・布細工 買い物(富江)
5月	バスハイク 手工芸 かたか	足湯(荒川) 貼り絵 かたか	11月	文化祭見学 文化祭作品作り バスハイク	貼り絵・布細工 奥浦
6月	紫陽花見学 七夕飾り作り 手工芸 誕生会	紫陽花見学(5日) 七夕飾り作り 貼り絵 誕生会(25日~29日)	12月	誕生会 買い物ツアー クリスマス会	誕生会(17日~21日) 買い物(エレナ) クリスマス(24日)
7月	七夕祭り 文化祭作品作り バスハイク	七夕祭り(7日) 文化祭作品作り 三井楽万葉公園	1月	新年会 手工芸 買い物ツアー	初詣(4日、5日) かたか・手工芸 買い物
8月	納涼祭 文化祭作品作り 買い物ツアー	貼り絵 買い物(エレナ) かき氷	2月	節分 手工芸 バスハイク	節分(2日) 布細工、折り紙細工 岐宿魚津ヶ崎公園
9月	誕生会 避難訓練 文化祭作品作り バスハイク	誕生会(24日~28日) 消防・避難訓練 貼り絵、布細工 富江	3月	雛祭り 誕生会 避難訓練 バスハイク 買い物ツアー	三井楽雛飾り見学 誕生会(18日~22日) 避難訓練(25日) 鬼岳 買い物(エレナ)

IV 訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営

1. サービス内容（訪問介護）

- ①利用日は、日曜日以外の毎日
- ②サービス提供時間帯は（平常の時間帯）午前9時～午後5時
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担
- ④サービスの概要
 - （1）身体介護・・・入浴介助、排泄介助、食事介助、体位交換、通院介助等
 - （2）生活援助・・・調理、洗濯、掃除、買い物等
 - （3）通院等乗降介助・・・通院時に事業所のヘルパーが病院まで同行、車への乗り降りや屋内外における移動の介助、受診の手続きなどを行う。

2. サービス内容（介護予防訪問介護）

- ①利用日は、日曜日以外
- ②サービスの概要

自立支援の観点から、利用者が出来る限り自ら家事等を行うことができるように支援することを目的としてして援助する。（調理・洗濯・掃除・買い物・薬の受取り代行）
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担

3. 利用者の状況

表18 利用者介護度状況（30年度利用者）

介護度	総合事業	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実人員	16	5	3	0	1	0	25

表19 月別利用者数（平成30年度）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	6	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	58
総合事業	17	18	18	18	18	19	19	17	17	15	15	17	208
合計	23	23	23	23	23	24	24	21	21	19	20	22	266

* 29年度1月あたり平均人数20人
→ 30年度1月あたり平均人数22人

4. 利用状況の推移

- ①サービス種類別ヘルパー稼働時間（単位 ○時間：○分）

表20 訪問介護の月別稼働時間の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	7:00	9:00	7:00	7:00	7:00	7:00	5:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	49:00
身生	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
生活	32:00	32:00	31:00	30:00	28:00	26:00	31:00	31:00	25:00	24:00	26:00	27:00	343:00
通院	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
計	39:00	41:00	38:00	37:00	35:00	33:00	36:00	31:00	25:00	24:00	26:00	27:00	392:00

表 2 1 介護予防訪問介護・総合事業訪問介護の月別稼働時間推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問Ⅰ	36:00	35:00	36:00	36:00	32:00	37:00	44:00	58:00	54:00	52:00	395:00	470:00	1285
訪問Ⅱ	12:00	23:00	23:00	25:00	25:00	22:00	27:00	26:00	25:00	25:00	24:00	24:00	281
訪問A1	23:00	27:00	20:00	18:45	22:30	19:30	18:00	13:30	10:30	9:00	9:00	14:15	205
計	71:00	85:00	79:00	79:45	79:30	78:30	89:00	97:30	89:30	86:00	428:00	508:00	1771

* 29年度：1月あたり平均稼働時間106時間 1日あたり平均稼働時間：4.0時間
 → 30年度：1月あたり平均稼働時間180時間 1日あたり平均稼働時間：6.9時間

表 2 2 ヘルパー月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	7	9	7	7	7	7	5	0	0	0	0	0	49
身生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活	34	32	31	30	28	26	31	31	25	24	26	27	345
通院乗降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	71	85	85	85	87	85	95	102	93	89	86	99	1062
計	112	126	123	122	122	118	131	133	118	113	112	126	1456

* 29年度1月あたり平均利用回数 107回 1日あたり平均利用回数：4.1回
 → 30年度1月あたり平均利用回数 121回 1日あたり平均利用回数：4.6回

表 2 3 特定旅客自動車運送事業月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護													0
総合事業 護	0	4	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	22

* 29年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 24回、1月あたり平均 2回
 → 30年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 22回、1月あたり平均 1.8回

表 2 4 介護保険外ヘルパー自費利用月間延べ回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費2時間													0
院内介助30分													0

(職員配置2.5以上で時間内であれば援助可能：1時間2000円)

30年度は若干利用者・利用回数が増えた。

特定旅客自動車運送事業についても、病院までの送迎希望者等、顧客ニーズに合ったサービスができるよう新規利用者の獲得が必要である。

V グループホームきじの里の経営

表 2 5 月別入退所者数の状況

1. 利用状況

平成30年度中における各月1日現在の入所者数を表25に示す。

表26に、平成31年3月31日現在の地区別入所者数を示す。岐宿町6名、旧福江市1名、三井楽町2名、玉之浦町、奈留町、富江町からの利用が無い。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。

稼働率は、99.1%、
平均介護度は2.7
平均年齢は90.1歳であった。

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
平成30年4月	9	0	1	9
平成30年5月	9	1	0	9
平成30年6月	9	0	0	9
平成30年7月	9	1	1	10
平成30年8月	9	0	0	9
平成30年9月	9	0	0	9
平成30年10月	9	0	0	9
平成30年11月	9	0	0	9
平成30年12月	9	0	0	9
平成31年1月	9	0	0	9
平成31年2月	9	0	0	9
平成31年3月	9	0	0	9

表 2 6 地区別入所者の状況

地 区	男性	女性	入所
旧 福 江 市	1	0	1
岐 宿 町	1	5	6
玉 之 浦 町	0	0	0
三 井 楽 町	2	0	2
合 計	4	5	9

表 2 7 入所者の要介護度

区 分	男	女	計
要介護1	2	2	4
要介護2	0	1	1
要介護3	0	1	1
要介護4	2	1	3
要介護5	0	0	0
合 計	4	5	9

表27に、平成31年3月末日におけるグループホーム利用者の介護度を示す。

表28、表29に、平成29年度、30年度介護度別の延べ人数を示す。延べ利用人数では29年度と比較すると9人の増となった。ご利用者様の健康管理に努め、病気の早期発見、早期治療を心がけ医療機関との連携を強化し、疾病の悪化や進行を防ぐことができた。

表 2 8 29年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	60	61	61	56	62	300
要介護2	120	124	120	124	124	90	93	60	62	62	56	62	1097
要介護3	45	62	60	62	62	90	79	60	62	61	49	62	754
要介護4	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1095
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	255	279	270	279	279	270	265	270	278	277	245	279	3,246

表 29 30年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	23	31	30	31	30	0	0	0	0	145
要介護1	30	30	30	31	93	90	93	90	124	124	112	124	971
要介護2	91	124	120	112	62	59	62	60	62	30	28	31	841
要介護3	60	62	60	34	31	30	31	30	31	31	28	31	459
要介護4	79	62	60	62	62	60	62	60	62	93	84	93	839
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	260	278	270	262	279	269	279	270	279	278	252	279	3,255

2. 年間行事実績

表30に平成30年度中に実施した行事等を示す。住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、常にご利用者の心身の状況を把握して、心穏やかに安心して過ごせるようサービスの提供に務めた。

積極的に社会参加ができるよう、外出などの機会を多く持ち個別のニーズを把握して支援を行った。また、残存機能を活かした生活リハビリを継続し、ご利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう個別ケアに努めた。

年2回の防火訓練を実施し、3月の訓練では夜勤者を主体とした夜間避難訓練を行い職員の防災意識の向上を図った。

表 30 平成30年度行事実施状況

月	行事計画	日	実施	月	行事計画	日	実施
4月	花見：ハスハイク	8	夏野菜苗植え	10月	避難訓練	1	運営推進会議
	山菜採り	9	山菜採り、皮むき		コスモス見学	17	おはぎ作り
	夏野菜苗植え	11	出張散髪		芋ほり	25	健康診断
		29	ふるさと巡り		冬野菜苗植え	30	焼き芋
5月	母の日	10	母の日昼食会	11月	文化祭	11	誕生会
	運営推進会議	20	買い物ツアー		運営推進会議	18	きじの里文化祭
	あじさい見学	23	運営推進会議		買い物ツアー	27	ふるさと巡り
			誕生会		29	運営推進会議	
6月	運動会	9	きじの里運動会	12月	家族会清掃	10	外部評価
	父の日	16	衣替え		クリスマス昼食会	15	家族会清掃
	梅干し作り	16	父の日昼食会		誕生会	19	ハスハイク
	芋の苗植え	16	衣替え		そば作り	23	誕生会・クリスマス会
			30	そば作り、すす払い			
7月	七夕昼食会	7	七夕昼食会	1月	新年祝賀会	1	新年会
	出張散髪	16	買い物ツアー（ハリュー）		初詣	6	初詣（住吉神社）
	運営推進会議	23	運営推進会議		七草がゆ	7	七草がゆ、ぜんざい会
			運営推進会議		29	運営推進会議	
			30	出張散髪			
8月	納涼祭	4	きじの里納涼祭	2月	節分	3	節分豆まき
	墓参り	12	かき氷作り		おやつ作り	7	買い物ツアー（福江）
	おやつ作り	26	ふるさと巡り （三井楽）		回転寿司	14	バレンタインデーお茶会
			25		菜の花見物		
9月	敬老会	17	敬老会	3月	雛祭り	3	雛祭り：誕生日昼食会
	おやつ作り	19	避難訓練		運営推進会議	9	ドライブ（荒川）
	運営推進会議	16	おやつ作り		誕生会	19	運営推進会議
	健康診断					22	避難訓練（夜間想定）
				29	芋団子作り		

* 回診は2週間に1回。訪問看護は毎週水曜日。個別のニーズを把握しその都度、自宅への外泊・外出、美容院への外出、買い物など、積極的に地域へ出かけ自立した生活が送れるように支援した。

3. 施設内研修

知識と技術向上のための内部研修を実施した。職員のレベルアップに取り組みご利用者の変化に迅速に対応できるよう、介護のプロとしてケアサービスの質の向上や、自己啓発に取り組んだ。

表31 平成30年度施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
4月14日 〈接遇勉強会〉	・言葉遣いやコミュニケーションについて	計6名
5月12日 〈リスク管理〉	・事故発生原因と対策について	計6名
6月9日 〈身体拘束について〉	・身体拘束排除に関する研修	計6名
7月14日 〈リスク勉強会〉	・事故の発生予防、再発防止に関する研修	計6名
8月11日 〈倫理と法令遵守〉	・倫理と法令遵守に関する研修	計6名
9月8日 〈介護保険について〉	・介護保険（地域密着サービス）について	計7名
10月13日 〈感染症勉強会〉	・感染症及び食中毒発生及びまん延の防止に関する研修	計7名
11月10日 〈服薬支援について〉	・薬の飲み方、飲ませ方の注意点	計7名
12月8日 〈嚥下機能について〉	・嚥下機能に関する研修	計7名
1月12日 〈認知症ケアについて〉	・認知症への理解、適切な接し方について	計7名
2月9日 〈虐待防止について〉	・プライバシー保護と虐待防止について	計7名
3月22日 〈避難訓練〉	・災害時の避難、救出等に関する訓練	計7名

V グループホーム清風の経営

表 4 2 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
平成30年4月	9	0	1	9
平成30年5月	9	2	1	11
平成30年6月	9	0	0	9
平成30年7月	9	0	1	9
平成30年8月	9	2	1	11
平成30年9月	9	0	0	9
平成30年10月	9	0	0	9
平成30年11月	9	1	3	10
平成30年12月	8	2	0	10
平成31年1月	9	0	0	9
平成31年2月	9	0	0	9
平成31年3月	9	0	0	9

1. 利用状況

平成30年度中における各月1日現在の入所者数を表42に示す。退所者は7名。表43、表44は、平成31年3月31日現在の入所者状況数を示す。表43 地区別の利用状況は、福江地区在住の利用者が8名。

表44に要介護度別入所者数を示す。平均介護度 2.7。
平均年齢 84歳。稼働率 93.5%。

表 4 3 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所者数
福江地区	2	6	8
岐宿町	0	1	1
奈留町	0	0	0
三井楽町	0	0	0
富江町	0	0	0
合計	2	7	9

表 4 4 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要支援2	0	0	0
要介護1	1	2	3
要介護2	0	1	1
要介護3	1	0	1
要介護4	0	4	4
要介護5	0	0	0
合計	2	7	9

表45、平成29年度、表46 30年度の介護度別延べ人数を示す。

延べ人数では、29年度と比較すると94日の減。原因として夏季の急変の入院と年末の特養への入所によるものである。救急搬送（意識レベル低下）が続き、主治医の指示を仰ぎ、事前に状態報告をご家族には報告を行う事で迅速に対応できた。今後も日頃の健康管理、疾病の早期発見、悪化予防等に努め、医療機関との連携を図り、ご家族様との信頼関係を深める。

待機者の確保については、随時に各関係機関、居宅介護支援事業所等へ情報提供し見学や電話問い合わせ等の対応を継続する。

表 4 5 平成29年度 要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	90	93	90	93	93	90	93	90	93	62	69	88	1044
要介護2	60	62	60	62	62	47	31	0	0	31	28	31	474
要介護3	60	62	83	93	93	80	93	60	62	31	0	0	717
要介護4	30	13	0	0	0	1	62	60	47	93	112	111	529
要介護5	30	31	30	31	29	0	0	60	62	62	29	31	402
計	270	261	263	279	277	225	279	270	264	279	238	261	3166

表 4 6 平成 3 0 年度 要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	60	71	83	78	62	37	31	45	91	121	84	82	845
要介護 2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護 3	0	0	0	0	14	30	31	30	31	31	28	31	226
要介護 4	110	124	120	124	121	120	124	94	93	93	112	124	1359
要介護 5	36	31	30	31	31	30	62	26	0	0	0	0	227
計	236	257	263	264	259	247	279	225	246	276	252	268	3072

2. 年間行事実績

表 4 7 は、平成 3 0 年度中に実施した行事、活動状況を示す。

表 4 7 行事実施状況

月	主な行事予定	日	実 績
4	花見 畑・花壇の整備 山菜採り 御大師参り 菜の花、桜花見	1, 4, 9 5 11 21 21 随時	桜、ツツジ、菜の花花見(随時) 担当者会議(看取り) 五島警察署訪問(災害時の対応) 訪問看護、井上先生 御大師様参り 買い物(近所)ドライブ、随時 山菜採り
5	母の日 運営推進会議 誕生会 散髪	随時 11 13 23 27	ドライブ、買い物(随時) 母の日 自宅へ外出 運営推進会議(1回目) チンドン屋訪問
6	健康診断(受診時) 紫陽花花見	6 13 17 22, 25 随時	きじの里運動会 救急搬送 自宅外出 紫陽花見物 買い物、ドライブ花見(随時)
7	七夕祭り 環境整備(菜園) 運営推進会議	随時 7 9 16 25	ドライブ 七夕会 訪問看護研修医訪問 救急搬送 運営推進会議
8	きじの里納涼祭 盆の準備・帰省 環境整備	4 6 随時	納涼祭 散髪 ドライブ
9	敬老会 誕生会家族交流会 運営推進会議 総合避難訓練	随時 6 11 17 28	ドライブ 大きな手、野口様研修、担当者会議 運営推進会議 敬老会 長大病院研修生訪問
10	野菜収穫 花見、ドライブ 防災器具点検	2 5 8	避難訓練(夜間想定) 自然災害訓練 誕生会、防火器具点検

		15 24	散髪 花見ドライブ、花壇整備（随時）
1 1	散髪 きじの里文化祭 インフルエンザ接種	随時 14 15 18 22	ドライブ インフルエンザ接種 歓迎会 きじの里文化祭 干し柿作り、運営推進会議
1 2	クリスマス会、誕生会 大掃除 正月準備	随時 11 24 28	ドライブ、買い物、施設見学 外部評価 クリスマス誕生会 お正月飾り付け
1	元旦 新年会 初詣 運営推進会議	1 3 10 18	元旦 新年会 初風呂 初詣（八幡神社）買い物 自宅外出 運営推進会議（5回目）
2	節分 花壇の手入れ（随時）	3 14 25 27	節分 散髪、誕生会 干し大根作り、ほうれん草収穫 長崎へ外出（1名）
3	運営推進会議 ひな祭り会 誕生会 山菜採り 総合避難訓練 散髪	随時 3 21, 28 25 26 28	ドライブ、買い物 ひな祭り 山菜採り 避難訓練（昼間想定、自然災害） 誕生会、花見ドライブ 運営推進会議（6回目）

訪問看護は毎週月曜日。定期往診は毎月1回。年一度の健康診断（市、健診表の活用）
 環境整備（ワックス掛け大掃除、衣替え、施設外の草取り、害虫駆除消毒、防火器具点検）
 （布団干し、シーツ交換、洗車、浴槽消毒）
 余暇時間はレクリエーション、買い物、ドライブ、不定期の受診は、随時に御家族様の協力を得ながら対応。

3. 施設内研修

統一したケアを目標に内部、外部研修を実施した。グループホーム職員としての知識、技術を職員全員が学び資質の向上に努めた。職員全員でマニュアルの見直し、業務の改善を行った。

表 4 8 平成30年度施設内外研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会内容	参加者
4月10日	認知症ケアについて 倫理、法令遵守、プライバシー保護、新人研修	6名
5月 1日	接遇（言葉づかい、コミュニケーション）	6名
6月18日	新人研修 身体拘束、高齢者虐待について	6名
7月 5日 7月10日 7月21日	褥そう予防 緊急時の対応について 「地域包括ケアに生きる」研修（外部）	6名
8月30日	看取りについて 口腔ケアについて	6名
10月15日	リスク勉強会（ヒヤリハット検証、対応策、再発予防） 転倒、転落、誤えん、誤薬、徘徊 の原因は？	6名
11月11日	感染症、食中毒、蔓延の対応について	6名

	咳、たんについて	
12月1日	高齢者虐待防止、身体拘束、認知症と精神疾患)	6名
1月31日	介護職のための摂食嚥下ケア(外部)	6名
2月14日	後見人制度について	6名
3月25日	避難訓練(昼間想定)、自然災害時の対応	10名

Ⅶ 居宅介護支援事業所きじの里の経営

1. 要介護度別利用状況

要介護認定者、総合支援事業による認定者を含め全体の登録者数は横這いで、総合事業、要支援者が全体の4分の3を占めている状況である。新規利用者では、医療機関での長期入院の受け入れが困難で早期退院を促され短期入所利用により利用開始となる方もおられるが、介護度が高いため比較的早く施設入所され、短期間で相談支援を終了する方もいる。五島中央病院に地域包括病棟が出来て医療連携室経由で新規依頼が入ることがある。包括支援センターより新規受託も数件ではあるが続いている。約6割を越える方が85歳を越えている

表39 利用者の要介護度別登録者

	男	女	合計
事業対象者	7	38	45
要支援1	7	15	22
要支援2	6	18	24
要介護1	8	11	19
要介護2	1	3	4
要介護3	1	5	6
要介護4	1	3	4
要介護5	0	0	0
合計	31	93	124

※表39、図3には予防プラン受託者・事業対象者数を含む

図3 介護度別登録者数

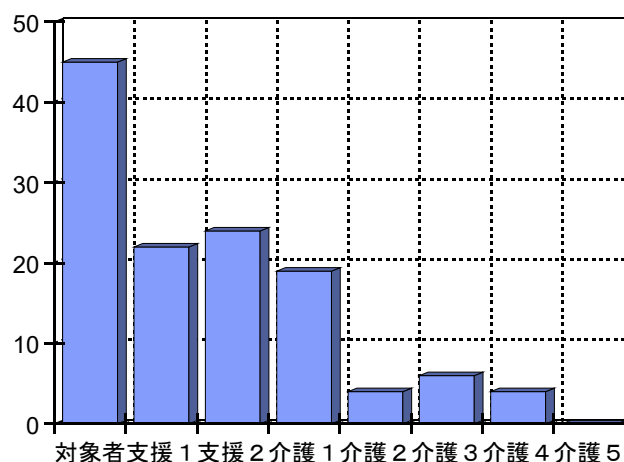
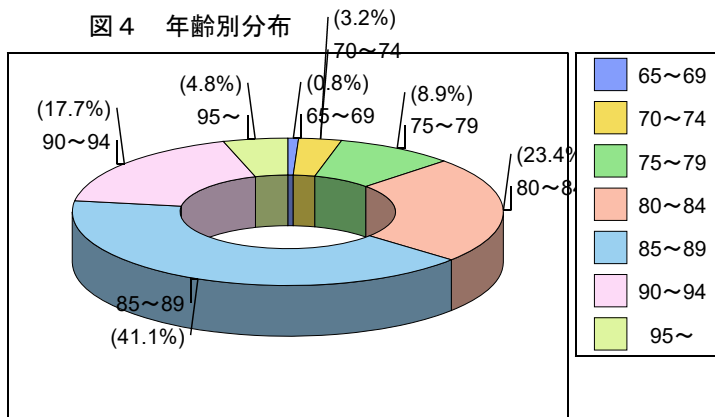


表 4 0 年齢別利用者数

区分	男	女	計
65～69	1	0	1
70～74	1	3	4
75～79	4	7	11
80～84	6	23	29
85～89	12	39	51
90～94	7	15	22
95～	0	6	6
合計	31	93	124



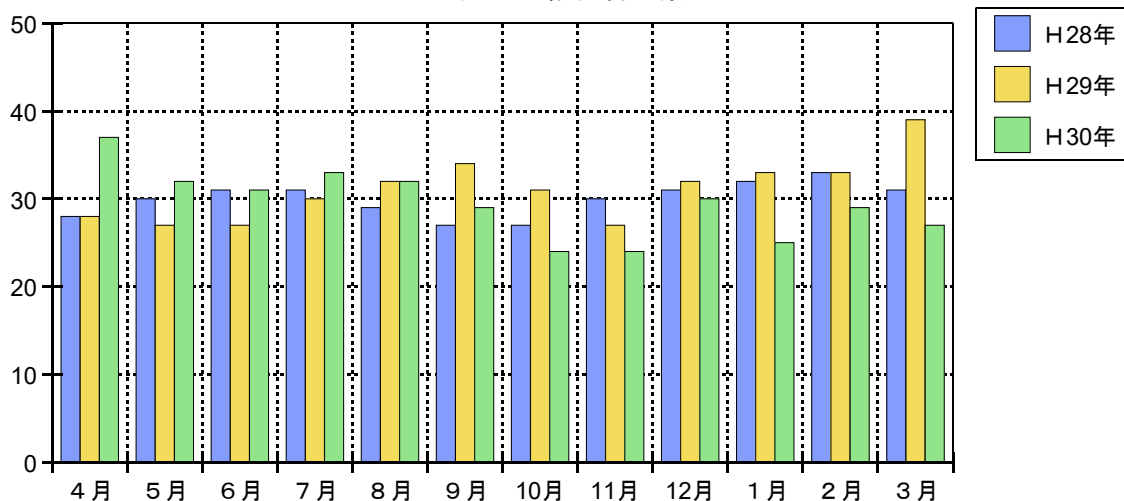
2. 給付管理表の提出状況

要介護者の登録者数は減少し、給付管理票の提出状況は前年と減となっている。逝去による利用者が6名、入所8名、要支援への介護度低下2名でした。新規利用者としては、健康状態の悪化や転倒骨折により要支援状態から要介護状態へ変更が6名、退院による短期入所サービス利用により受託する方が2名、新規申請名もおられた。終了ケースとしては他界されたり施設入所、要支援状態への移行が17名おられ、新規利用より逝去、入所のケースが多い。また、サービス未利用の利用につながる利用者の方も数名程おられる。

表 4 1 給付管理表の提出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26年	23	23	25	26	24	27	29	33	25	26	25	29	315
H27年	28	31	29	30	30	29	30	31	28	27	27	29	349
H28年	28	30	31	31	29	27	27	30	31	32	33	31	360
H29年	28	27	27	30	32	34	31	27	32	33	33	39	370
H30年	37	32	31	33	32	29	24	24	30	25	29	27	353

図 5 給付管理票



3. 予防給付プラン・総合支援事業プラン作成件数

利用者がは横ばいの状況ではあるが、総合事業から予防への以降もあり、転倒骨折等の原因により予防給付・総合事業から介護給付へ移行し、状態の改善により行き来される事例も少なからずみられている。

表 4 2 予防プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年	44	43	44	46	46	50	43	40	40	34	31	28	489
H28年	26	24	22	17	14	13	11	11	12	13	12	14	189
H29年	12	15	15	13	14	11	11	12	14	13	14	13	157
H30年	13	16	14	14	14	15	16	17	15	15	15	15	179

表 4 3 総合支援事業プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年							5	8	10	15	23	30	91
H28年	42	48	50	54	54	55	55	55	60	56	55	56	640
H29年	63	59	58	56	56	58	58	58	57	58	60	59	700
H30年	58	56	56	58	58	55	58	57	56	54	53	54	673

Ⅷ 五島市在宅介護支援センターきじの里の経営

1. 事業実績累計

表 4 4 に相談件数を示す。

表 4 4 相談受付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電 話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来 所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
計	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3

2. 実態把握件数

岐宿町の配食サービスに関しては判定が厳しいとの声も聞かれていた。また高齢でも野菜などを作り食材を工夫しながら調理を行っている人が多く配食サービスに頼る人が少ない傾向であるため町内の利用者が伸びていないと思われる。前年度に比べ多少増加傾向にあるが独居の男性や妻の身体能力の低下により男性の利用者が多くなってきている。

表 4 5 実態把握件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
配 食	3	1	1	2	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	3
計	3	1	1	2	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	3

Ⅸ 介護報酬の状況

表46に平成30年度における特別養護老人ホーム（入所事業・短期入所事業・ヘルパ―事業・居宅介護支援）、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、認知症対応型共同生活介護事業の収入状況を示す。

特養全体の収入は278,310千円で前年度（276,580千円）と比較して1,730千円の収入増となった。

短期入所生活介護は入所待ち長期利用者の入所、入院が続いた為収入減となった。

表46 事業別収支状況（単位：千円）

	特別養護老人ホーム						デイサービスきじの里			在宅 介護 支援 センター	グループ ホーム きじ の里	グループ ホーム 清風	デイ 清風
	介護老人 福祉施設	短期入 所生活 介護	訪 問 介 護	居 宅 支 援	支 援 費 シ ョ ー ト	合計	地域 密着・ 型 通所	総合 支援 事業	合計				
30年	235,422	30,563	4,597	7,728	0	278,310	13,112	15,684	28,796	385	34,787	33,115	14,741
29年	230,768	33,326	4,506	7,980	0	276,580	13,628	14,415	28,043	372	34,962	33,545	14,397
増減	4,654	△2,763	91	△252	0	1,730	△516	1,269	753	13	△175	△430	344

28年	229,039	33,072	4,484	7,887	0	274,482	28,622	2,201	30,823	355	33,374	32,975	16,777
27年	230,332	33,854	4,418	6,903	671	276,178	32,626	827	32,453	388	33,322	33,089	20,093
26年	230,363	34,407	4,323	6,102	203	275,398	32,475	1,933	34,408	446	33,263	33,668	16,225
25年	228,380	35,386	3,375	6,457	1,140	274,738	33,047	2,158	35,205	474	33,513	34,504	10,050
24年	232,070	40,704	3,212	6,368	240	282,594	38,290	3,745	42,035	508	33,267	34,612	10,519

X-1 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（きじの里）

1. 事故発生状況

表47に平成30年度中における事故発生件数を示す。29年度の138件に対して168件で、30件の増加となっている。主な事故は外傷45件（前年47件）で全体の27%、転落26件（前年2件）15.4%、転倒20件（前年17件）で11.9%、滑落17件（前年7件）10%となっている。外傷については、重度高齢者の皮膚は剥離しやすく、介助面、環境面から細心の注意をはらい起居や移乗毎の皮膚観察やスキンケア等を実施している。また圧迫によるものか、疾患に起因するものなのかその都度看護職員による対応を行っている。骨折は3件（前年0件）で介助中に発生。2名は骨粗鬆症の利用者様でした。誤薬は5件で前年度より5件減少している。

ヒューマンエラーを極力無くす為、全体会での問題提起と手順の見直しにより、チェックを2重3重に強化した結果9月以後誤薬はゼロになっている。発生した誤薬のうち誤った薬を服用1件、服薬後落ちていた3件、飲ませ忘れ1件である。

リスク委員会では、各部署にてテーマを設けて改善等をおこなうように1年間勧めてきた。ケアの方法統一や見守りのあり方などを検討するようにし、3ヶ月毎に共同の打ち合わせをおこなってきました。元年度は予見可能な事故に着目し、原因分析を各部署と打ち合わせながら実施し、原因を明確に把握し対策出来る様にしていきたい。

表47 事故報告件数（特養きじの里）

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨 折	介助中							1				1	1	3
	自力													0
	不明													0
		3												
外 傷	介助中	3	5	1	2	6	4	2	1		1			25
	自力			1			2			1				4
	不明		1		6	1	1	1	1	2	1		2	16
		45												
打 撲	介助中			1										1
	自力									1				1
	不明			1										1
		3												
転 倒	トイレ使用中		1			1	1		1	2	2	1		9
	居室		1	1			1	1	1					5
	車椅子からの立ち上がり					1						1		2
	廊下・ホール	1		1			1	1						4
		20												
転 落	椅子		1	1				1				1		4
	車椅子	1	2	1	2	1			1	3		2		13
	ベッド	1				3	1				2	1	1	9
		26												
滑 落	椅子				1			2						3
	車椅子							1		1	2	2		6
	ベッド				1	1			1	1	2	2		8
		17												
経管パルー ン抜去	介助中													0
	自力													1
		1												
火 傷	介助中												1	1
	自力													0
		1												
異 食	食べられない物を口に入れた			1							1			2
		2												
誤 嚥	物をのどに詰らせた												1	1
		1												
誤 薬	誤った薬を服薬		1											1
	服薬後落ちていた	2				1								3
	飲ませ忘れ					1								1
		5												
外 出	敷地外まで外出													0
		0												
外 出	敷地外まで外出													0
		0												
その他	車両破損、トラブル	3		4	8	1	4	5	5	4	3	3	5	45
		45												

合 計	11	12	13	20	17	15	15	11	16	13	14	11	168	168
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表48にヒヤリ・ハット報告状況を示す。平成30年度のヒヤリハット総計は381件（前年453件）で15.9%の提出件数の減少があり月平均31件であった。

内訳は危険行動145件（前年127件）、滑落65件（前年63件）、転倒58件（前年114件）で全体の70%を締めている。

部署別提出では1・2丁目で109件（月平均9件）の提出。3・4丁目186件（月平均15.5件）、5・6丁目52件（月平均4.3件）、デイ14件（月平均1.1件）であった。

1・2丁目では転倒、滑落、危険行動が66%を占め、3・4丁目では危険行動、滑落が73%、5・6丁目では滑落、危険行動が43%を占めた。デイでは転倒が60%を占めた。薬の誤配に関しては昨年からのマニュアル等の読み合わせや再確認の徹底を行った結果11月以降誤配を防止することに成功した。

表48 ヒヤリハット報告件数（特養きじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言				1		1							2	2
転倒	転倒しそうになる	5	5	5	6	4	6	4	1	2	3	3	1	45	58
	転倒したが外傷なし	1	2				2	3	2	1	1		1	13	
転落	転落しそうになる		2	1	2			2		1		4	2	14	18
	転落したが外傷なし										1		3	4	
滑落	滑落しそうになる	3	3	3	11	1	6	3	2	6	4	4	4	50	65
	滑落したが外傷なし			2			2	2	2	1	3	2	1	15	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した		13			10	14	16	8	12	12	12	13	110	146
	“ 立ち上がろうとした	9	1	1		1	1	3	3	3	4	3	7	36	
異食	害にならない物を口にし、はき出した					1					1			2	3
	“ 口にいれようとした		1											1	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた													0	0
外出	敷地内外出	1	1		2			3	1		3			11	11
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無														
その他	ブレーキかけ忘れ	7	2	10	6	6	14	8	4	5	4	6	6	78	78
合 計		26	30	22	28	23	46	44	23	31	36	34	38	381	381

X-2 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GHきじの里）

1. 事故発生状況

表49に平成30年度中における事故発生件数を示す。30年度は3件の事故が報告されている。

ご利用者様の心身の状態を把握し、職員間の情報共有を図りながら、安全管理に対する考え方を再認識し業務にあたる事が必要である。また、事故を未然に防ぐ取り組みを強化し介護技術の向上を図るよう取り組んで行く。

表 49 事故報告件数（GHきじの里）

事故	事故	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
骨折	介助中													0	0
	自力													0	
	不明													0	
外傷	介助中										1			1	1
	自力													0	
	不明													0	
打撲	介助中													0	0
	自力													0	
	不明													0	
転倒	トイレ使用中													0	1
	居室			1										1	
	車椅子からのた立ち上がり													0	
	廊下・ホール													0	
転落	椅子													0	1
	車いす													0	
	ベッド										1			1	
誤薬	誤った薬を服薬														
経管 バルーン	介助中													0	0
	自力													0	
合 計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	3

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表50にヒヤリ・ハット報告状況を示す。平成30年度は27件のヒヤリ・ハット報告が提出された。主なヒヤリハットは転倒であった。

発生状況から時間帯や発生場所などを分析した結果、同じ時間帯や精神状態に変化がみられる状況での発生が多い。職員1人1人が事例を十分理解し、ご利用者様の精神面、環境の変化による行動の変化を十分把握し支援を行うことが重要である。

また、職員間の連携と情報の共有化を図り事故を未然に防止できるように取り組んで行く。

表 50 ヒヤリハット報告件数（GHきじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言						1							1	1
転倒	転倒しそうになる						1		1				1	3	10
	転倒したが外傷なし		2				1	2	1	1				7	
転落	転落しそうになる													0	1
	転落したが外傷なし										1			1	
滑落	滑落しそうになる													0	5
	滑落したが外傷なし			2			1					2		5	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した													0	0
	“ 立ち上がろうとした													0	
異食	害にならない物を口にし、はき出した													0	0
	“ 口にいれようとした													0	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた													0	0
外出	敷地内外出				2				2	1				5	5
その他	ブレーキかけ忘れ、その他							2	1			1	1	5	5

X-3 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GH清風）

1 事故発生状況（集計表は省略）

事故発生については、帰宅願望の利用者様の外出事故が2件。地域の方のご協力により無事に保護。再発予防策として、手薄な時間帯の居場所確認、集中できる作業を勧めたり、行動を把握し「気分転換、精神安定」を図る等、職員間の情報共有の強化に努めた。早朝の排泄後に立ちくらみによる転倒1件。（1泊の検査入院後に退院された。）「自分は大丈夫」との思いを受け止め、事故防止に努めたい。

2 ヒヤリ・ハット報告状況 表60

平成30年度は報告件数357件。危険行動が59件。外出が52件。入所間もない利用者様のヒヤリハットが目立っている。又、居室内危険行動（不眠時、早朝時）が観察されている。今後も「環境の変化」に伴う利用者様の行動、「気になる（衣服、排泄、他のご利用者様等）」行動から発生する危険行動を予測するためにも、職員間の情報共有を強化し「安心して過ごせる環境作り、心身の安定」に努め、日々の観察をヒヤリハット」に反映させ事故防止に繋げたい。

表60 ヒヤリハット報告状況（GH清風）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合 計
転倒	転倒したが外傷なし			3	1		1	2	1		2			10
	転倒しそうになる		10	5	7	2	2		3	10	8	4	2	53
転落	転落しそうになる	7	5			4								16
	転落したが外傷なし			2				2						4
滑落	滑落しそうになる		3	4	10	7	3	2						29
	滑落したが外傷なし												1	1
危険行動	歩行困難者が歩行した	2		1		1					2		1	7
	“立ち上がろうとした、膝折れ	1	1	1	4	1	1		1		3	3		16
	“トイレ使用		3	2						2	1		1	9
	“移乗、起きあがり	1	2			2	1	5	6	2	3	2	3	27
異食	無害な物を口に入れ、吐き出した									1		2		3
誤燕	誤燕しそうになる	1	1	3	5	7	4	2					3	26
外出	外へ出ようとした	12	10	6	2	3	1	2		1	2	8	5	52
急変	急変（意識消失など）	1			1	3	1		3					9
介護ミス	皮膚剥離トラブル		1		1	4	3	2			2		3	16
	車椅子の座面に足を乗せる等													
その他	利用者同士のトラブル	3	1	1		3		4		2	3	2		21
	便器にパットを落とす		1								3			4
	居室内危険行動		5	1	4	6	5		3	5	5	3	4	37
	ベッド上での危険行動				4		2	3	2		4			15
	近所からの火災の誤認通報											1		
合 計		28	43	29	39	42	24	24	19	23	35	26	23	357

X I 生計困難者対策実施状況

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度における、平成30年度の減免実績（減免した延べ人数、施設が負担した額）を表52に示す。本年度の施設サービスにおける減免対象者は延べ326人、減免額は4,309,573円であった。また、居宅サービスにおける減免対象者は延べ36人、減免額は339,387円であった。きじの里全体では、減免対象者は延べ362人、減免額は4,648,960円であった。

表52 利用料減免額

きじの里	のべ人数※	1割負担分	食費	居住費	不明	負担額合計
施設サービス	326	528,441	959,059	2,822,073		4,309,573
居宅サービス	36	42,786	88,074	208,527		339,387
合計	362	571,227	1,047,133	3,030,600	0	4,648,960

※のべ人数は月単位。

X II 生計困難者レスキュー事業実施状況

平成28年8月から社会福祉法人の新たな地域貢献として「生計困難者レスキュー事業」が開始された。長崎県内の社会福祉法人（参加101法人：平成31年2月末現在）が参加。資金を拠出して基金を創設し、生計困難者に対して生活保護費支給や給与支払いなどで生活の目処が付くまでの一定期間、食料品、日用品の現物支給、光熱費等の支払いを無償で行っている。

平成31年2月末時点でのレスキュー基金総額は6,425,000円であり、平成31年2月末での基金支払額は4,307,400円となっている。全相談件数は151件で、レスキュー実施件数は171件であった。平均支払額25,189円、平均支援期間21日間、CSW平均訪問回数は3回となっている。

相談経路は社協51件、行政68件からの情報が殆どで78.8%を占める。今年度「きじの里」では3件の支援を行った。支援結果は以下の通りである。

表53 平成30年度レスキュー事業実施状況

	食料品	日用品	宿泊費	合計	支援理由
事例 1	3,023	0	0	3,023	生活保護受給決定までの支援
事例 2	16,618	1,672	0	18,290	生活保護受給決定までの支援
事例 3	11,290	0	0	11,290	生活保護受給決定までの支援
合計	30,931	1,672	0	32,603	